

# 情報取得についての アンケート 集計結果

2023.3.15 公表

## 情報取得についてのアンケート

実施期間 2023年2月14日～3月10日 実施方法 WEBアンケート 回答人数 1502人

キャリアグループ総合研究所では、当社登録スタッフおよび一般の方（無作為）を対象に、情報取得についてのアンケートを2023年2～3月にWEB形式で実施、1502名（男性13%、女性87%）から回答を得ました。情報の入手先や、信頼度、使い方などについての状況をまとめています。

### CONTENTS

- P2 概況
- P3 ニュースの情報源
- P4 ニュースソースの信頼度
- P5 気になるニュースの調べ方
- P6 自らに関わるニュース（災害情報など）の調べ方
- P7 新聞の購読数

### 概況

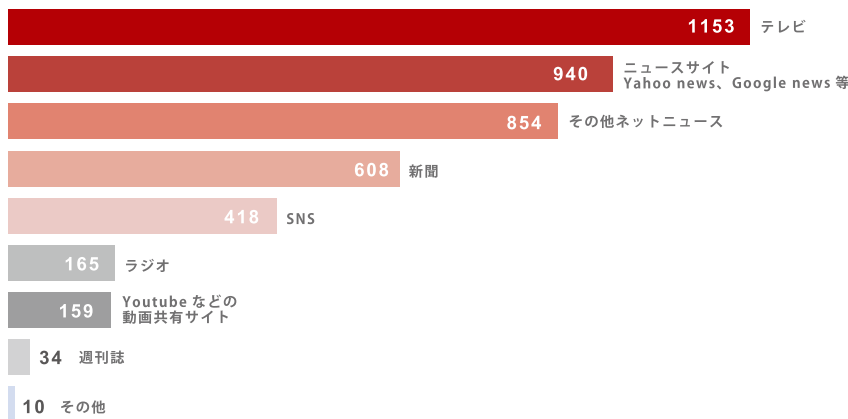
- 情報源としては、ネットニュースが最多、1日2回以上の情報アクセスが84.4%。
- 自身に直接関わってくる災害情報なども複数のメディア情報を組み合わせ判断
- ニュースソースの信頼度は新聞とテレビが他を圧倒している。
- 新聞購読数は53%。日本新聞協会の調査数と同数。
- 全体の70%が、気になるニュースを複数のメディアで確認している。

## ニュース情報源は単独ではテレビが首位。ただ、ネットニュースを合計すると、ネットがテレビを64%上回る。

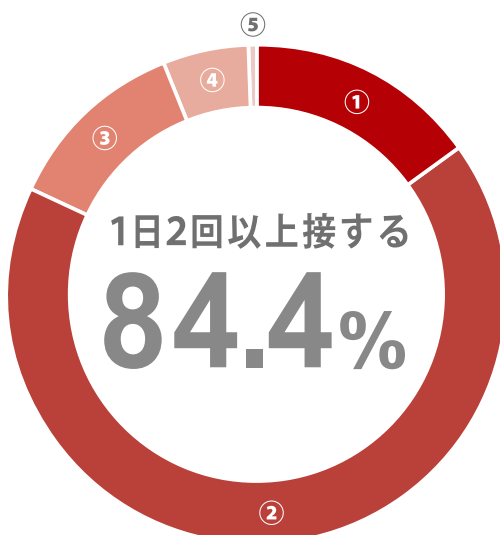
ニュース情報源をどの媒体に求めているかについて質問を行いました。単独ではテレビが最も多いという結果となりましたが、ネットニュースを合計すると、1794名と、テレビを64%上回りました。ニュース情報に接する頻度は、1日に2～5回が最も多く67.1%。複数回アクセスする人は全体の84.4%に達しています。

### 1 あなたは主にどのメディアを通じ、ニュース情報を得ていますか？

※複数回答



### 2 あなたはどの程度の頻度でニュース情報に接しますか？



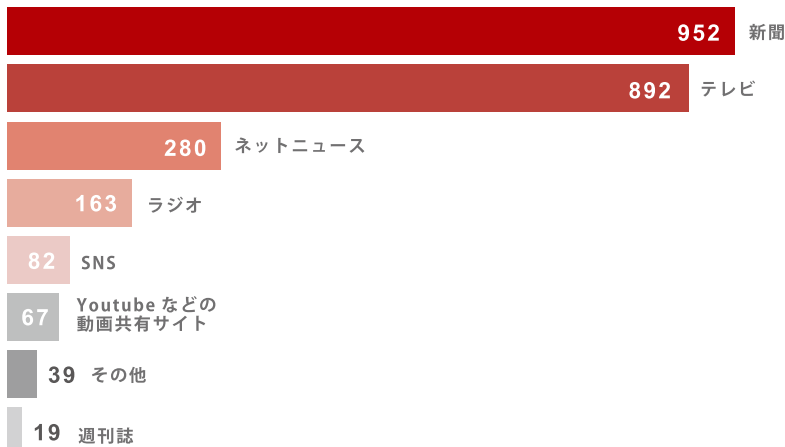
- ① 1日1回程度
- ② 1日2～5回程度
- ③ 1日6～10回程度
- ④ 1日10回以上
- ⑤ 全く接しない

## ニュースソースの信頼度は新聞、テレビが他を圧倒。 ただし、大手メディアよりネットを重視する声もあり

新聞、テレビのニュースへの信頼度は、他媒体を突き放して圧倒的です。理由を紐解くと、公共性の高さに加え、取材源の確かさや、それを補完する専門家が多く関わっている点など、他メディアには真似できない手間暇をかけた報道が、信頼性の高さにつながっているようです。逆に、ネットニュースは速報性の高さを評価する声が多かったのに加え、大手メディアが取り上げていない情報を探すのに利用する、といった意見もありました。

### 3 あなたはどのメディアからの情報に信ぴょう性があると思っていますか？

※複数回答



### 4 あなたがそのメディアに信ぴょう性があると考え理由を教えてください

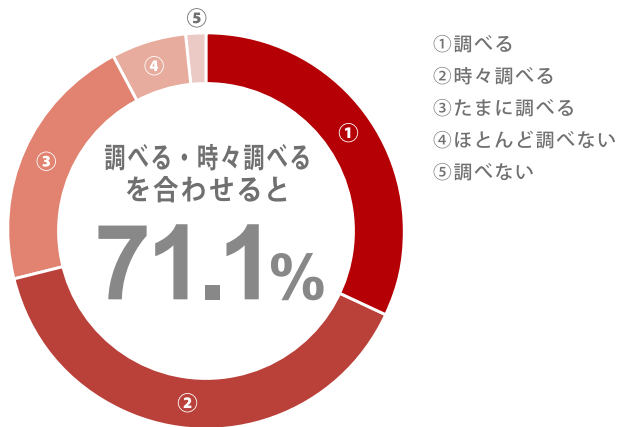
#### 目立った回答

新聞	ちゃんとした裏付けがあるので流していると思う。 信ぴょう性があり、偏った情報を報道することはないから。 新聞は署名記事以外は一般的な事実を掲載していると思う。 長年ニュースを発信している会社からの情報だから。 専門家、学識者が関わっているから。 昔からある媒体だから。	テレビ	チャンネル毎にスポンサーがあり、それが信用につながっている。 NHK や池上彰や林修のテレビなら説得力がある。 嘘を報道した時のリスクが大きい。 公共性があるから。 玉石混交のネットニュースと違い一定のスクリーニングがなされている。
ネットニュース	リアルタイムで情報が入ってくるから。 国内外のニュースが流れているので、物事を俯瞰的に見られるから。 時としてテレビや新聞では得られない情報が埋もれているから。 テレビ、新聞のように偏っていないから。 いちいち信ぴょう性を調べる立場にいないから。	SNS, Youtube	すぐに調べることができるから。 集合知だから。 自由に発言できるから（付度が少ないから）。 テレビなどでは伝えられない生の情報を得られる。 自分が信頼出来る人が発信しているものだから。 企業などとのしらがみが少ないから。

## 全体の70%以上が、気になったニュースを複数のメディアで確認している

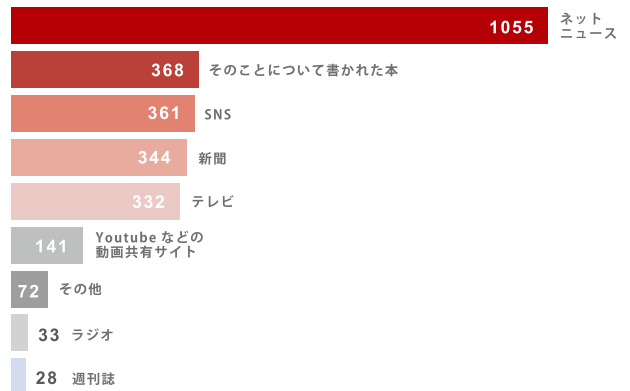
気になったニュースや出来事に出会ったとき、71.1%の人が、複数のメディアで調べると回答。調べる媒体は、情報を検索して引き出すことができるネットニュースが突出しています。また、ニュース以外に気になった情報を調べるのは、ホームページが1位ですが、SNSもそれにせまる勢いであり、さらにYoutubeも一定の割合で活用されているなど、各種SNS・動画サイトが主要な情報源となっている現状が見えています。

5 「気になったニュースや出来事」について、複数のメディアで調べますか？



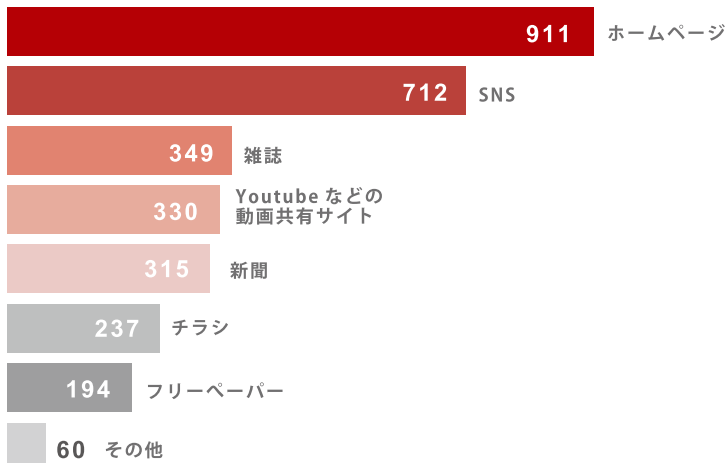
6 「気になったニュースや出来事」をさらに調べるときに、主に使うメディアは何ですか？

※複数回答



7 ニュース以外の情報はどこから得ることが多いですか？

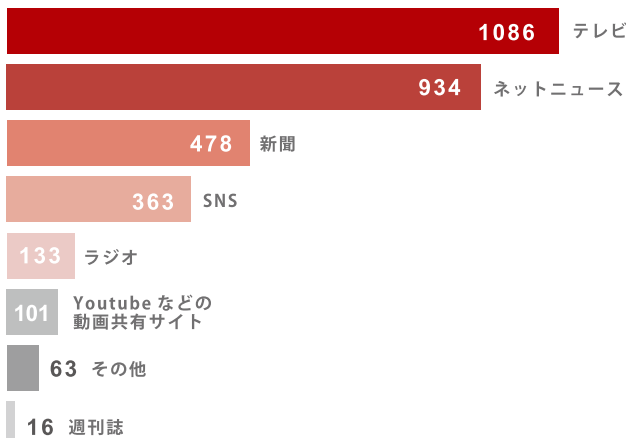
※複数回答



## 自身に直接関わってくる災害情報なども、複数のメディアからの情報を組み合わせ総合的に判断

自身に直接関わってくるニュースの情報源は、テレビが1位、ネットニュースがそれに続いています。理由を紐解いてゆくと、ここでも複数のメディアから情報を取得し、総合的に判断しているケースが多くみられます。概略はテレビで、詳細は新聞で、特定の意見はネットで、速報は SNS で、などというように、媒体の特徴を生かして情報を収集し、行動の根拠としている様子が伺えます。

### 8 自らに直接関わってくるニュース（コロナ感染状況や自然災害等）は、主にどのメディアから取得していますか？



### 9 問8での回答について、その理由を教えてください

#### 目立った回答

**新聞・テレビ**

身近な情報源だから。  
読みたいときに見られるから。  
情報が確実だから。  
全国に支局があり、地域情報が充実しているから。  
データ収集機関や発言者などの情報のソースが明確。  
SNS やネットニュースは当てにならない。

**ネットニュース・SNS**

雰囲気をさらっと知るには便利。  
情報が早いから。  
自分で見に行かなくても勝手に目に入って来る。  
新聞を読む時間もないし手軽だから。  
スマホで簡単に見られる。

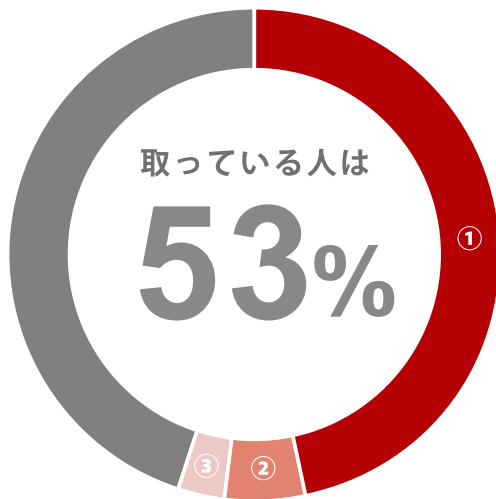
**複合的に活用**

信憑性のあるテレビや新聞と共に、リアルタイムのリアクションを知る SNS を見る。  
一方通行では無い多方面からの情報を得て、間違った情報を鵜呑みにせず自分自身でしっかり判断したい。  
事実や客観的な情報が欲しいときはマスメディアや行政・そのトピックに関連する団体の HP 等の情報媒体を見た方がいい。  
出元がちゃんと分かっている新聞、ニュースには信頼性があると思うし、より詳細な情報はネットなどで広く集めたいと思うから。  
新鮮な映像だと TV、内容だとネットニュースが短い文章で分かりやすい。  
テレビや新聞では概要や一般論を知り、ネットニュースや SNS では自分と考えの近い人の意見や真逆にある人の意見について見比べたい。

## 新聞については、53%が購読。日本新聞協会の世帯当たりの部数と同率。

キャリアパワーの調査対象者は、図書館などに努めている、または務めた経験のある人の割合が、一般的な調査に比べて高い傾向にあります。ただ、そうした文字に比較的親しんでいる層でも、新聞の購読率は日本新聞協会調査の購読数（1世帯あたり0.53部）と差は見られませんでした。

### 10 あなたのご家庭では新聞（電子媒体含む）を取っていますか？



- ① 紙の新聞を取っている
- ② 電子新聞を取っている
- ③ 紙と電子どちらも取っている
- ④ 紙と電子どちらも取っていない

キャリアグループ 総合研究所 careergroup research labo.

〒600-8216 京都府京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町 843-2 日本生命京都ヤサカビル 4 階  
(株)キャリアパワー 本社内  
TEL 075-341-2929

本内容を無断で転載、改定することを禁じます。

下記 URL でも公開しております  
<https://www.careerpower.co.jp/topics/>



**Career Power**  
キャリアパワー 総合研究所  
careerpower research labo.